

各位

上場会社名 株式会社 ナルミヤ・インターナショナル
 代表者 代表取締役執行役員社長 岩本 一仁
 (コード番号 3364)
 問合せ先責任者 取締役執行役員常務 管理本部長 上田 千秋
 (TEL 03-6430-9100)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年3月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年1月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年2月1日～平成22年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	19,908	△57	46	5
今回発表予想(B)	17,469	△754	△696	△1,067
増減額(B-A)	△2,439	△697	△742	△1,072
増減率(%)	△12.3	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成21年1月期)	20,448	△710	△669	△1,540

平成22年1月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年2月1日～平成22年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	18,042	—	73	75
今回発表予想(B)	16,715	△436	△347	△714
増減額(B-A)	△1,327	△436	△420	△789
増減率(%)	△7.4	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成21年1月期)	20,226	△622	△549	△1,371

修正の理由

(個別)

平成22年1月期の連結累計業績は、小売業界全体の傾向として消費者の生活防衛型消費や節約志向がますます強まったことで、売上高維持のための低価格販売を余儀なくされ、それが消費者の低価格志向にさらに拍車をかけ、セール販売の常態化から抜け出せないという悪循環に陥っております。

このように、消費マインドの低迷は依然として改善せず、特に当社グループの主力販売チャネルである百貨店業界においては23ヶ月連続で売上高が前年同期比を下回るなど、厳しい状況が継続しており、当社においても客数・客単価共に前年を下回って推移いたしました。

一方で利益率の減少を吸収すべくコストの削減にも取り組みましたが、売上総利益の減少に対して、コストの削減が追いつかず、営業利益を改善させることが出来ませんでした。

その他、不採算となった3つのブランドが減損会計基準適用の対象となり、減損損失の計上を余儀なくされました。

また、平成21年5月29日付当社「役員退職慰労金の支払いによる特別損失の発生のお知らせ」にてお知らせいたしました通り、当社の名誉会長であった成宮雄三が退任し、退職慰労金を支払ったために約213百万円を特別損失として計上しましたが、不動産等固定資産の売却益等の特別利益の計上によって通期における当期純利益を維持する事ができるものと考えておりました。しかしながら、不動産不況当の影響もあり十分な売却益が確保できず、当期純利益が上記の通り減少いたしました。

以上の結果、前回発表の予想に対して売上高は1,327百万円下回る16,715百万円(当初予想比7.4%減)、営業利益は436百万円下回る△436百万円、経常利益は420百万円下回る△347百万円、当期純利益は789百万円下回る△714百万円となりました。

(連結)

当社グループの連結対象会社の内「株式会社ミリカンパニーリミテッド」は年間売上高が4億円程度の規模であり、また「株式会社スターキューブ」は平成21年2月に設立したばかりであることから、連結業績に与える影響は小さく、連結業績予想の修正における影響額のほとんどは、株式会社ナルミヤ・インターナショナルの売上高及び利益の減少によるものであります。

以上